

富士見市防災環境カルテ

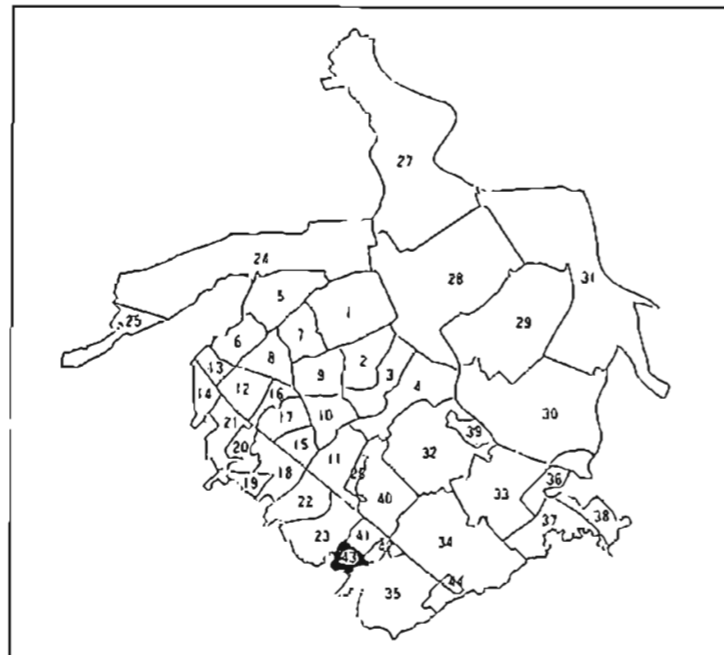
西みずほ台3丁目町会 位置番号 43

概況

西みずほ台3丁目町会は、富士見市の西部に位置し、町会全体が台地で形成されている。南東側にみずほ台駅西通りがみずほ台駅まで通じている。西側には、住宅都市整備公団みずほ台団地（集合住宅）が建設され、町会全体は住宅地として整備されている。水害、地震災害の危険性は低いと予想される地域であるが、人口密度の高い集合住宅が地震災害によって被害を受けた場合、この地域の住民の生命や財産の保全に大きな影響を与えることが予想されるため、多面的な防災対策を必要としている。

水害は、雨水、下水路や唐沢堀からの溢水により、道路冠水及び地下室等への流入による被害が予想される。

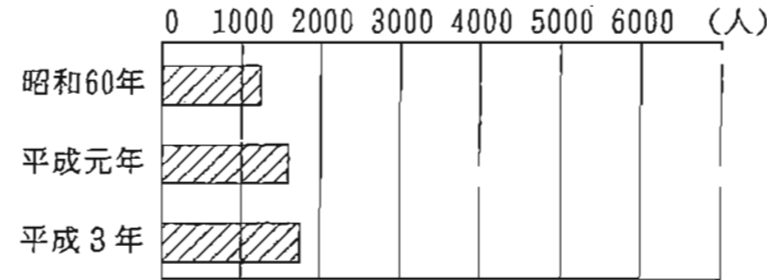
位置図



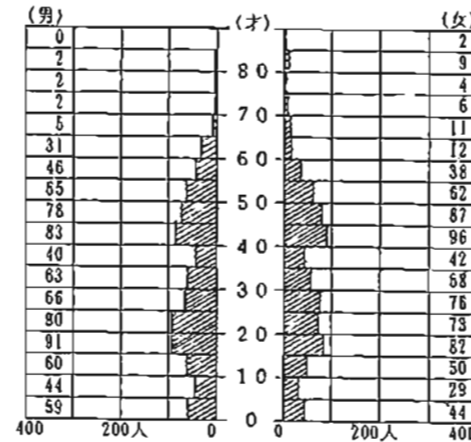
1. 基礎指標

・面積	0.070 km <sup>2</sup>
・人口(平成3年10月1日現在) 男	825人
女	777人
計	1,602人
・人口密度	22,885.7人/km <sup>2</sup>
・寝たきり老人数	0人
・ひとり暮らし老人数	1人
・世帯数	546世帯

人口推移



年齢別人口(平成3年)

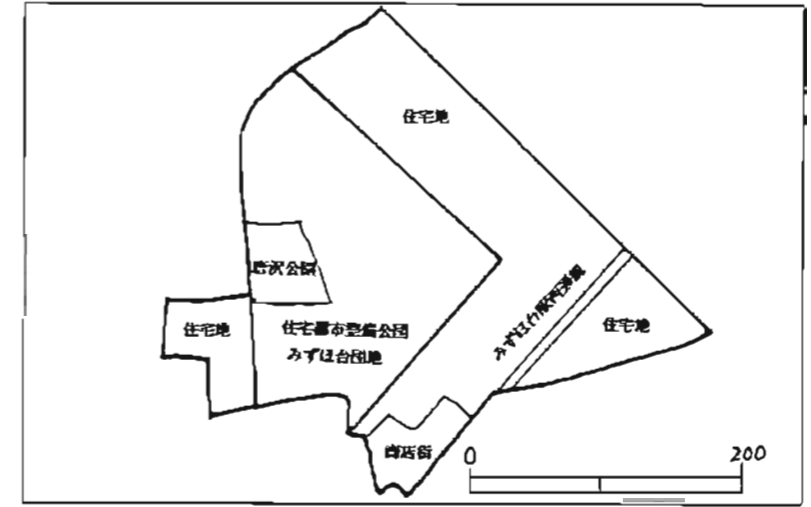


・商住工混在率住居系	98.6%
店舗系	1.1%
工業系	0.3%

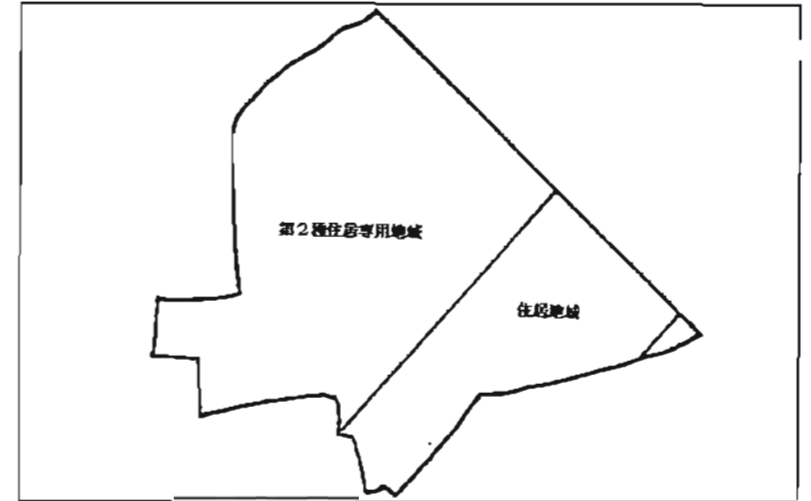
富士見市防災環境カルテ

西みずほ台3丁目町会 位置番号 43

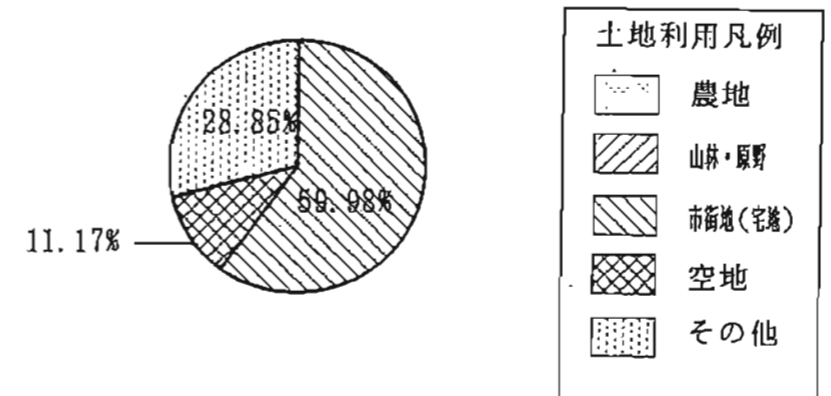
町会現況図



用途地域図



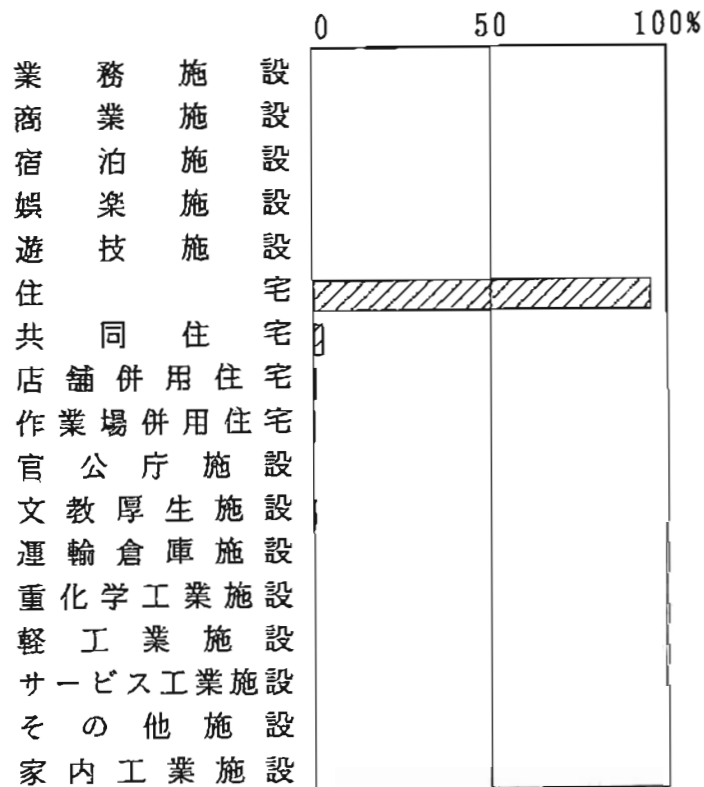
土地利用現況



2. 建物指標

・建物棟数	1,062棟	
木造建物	11棟	
非木造建物	1,051棟	
・建物面積	10,449.79㎡	
木造建物	588.35㎡	
非木造建物	9,861.44㎡	
※建物面積は1階の面積		
・住宅率	96.4%	
・木造率	1.0% (11棟)	
・昭和34年以前の木造家屋実棟数	0棟	
・同上率	0%	
・建物階層別現況(木造建物)		
1階	11棟	100.0%
2階以上	0棟	0%

・建物用途別現況



3. 道路空地指標

・道路率	14本	200.0本/㎢
・幹線道路率	3本	42.9本/㎢
・公共空地面積	3,000.0㎡	
・公共空地率	4.3%	
・1人あたり公共空地	1.9㎡/人	
・公共空地内容(*指定避難所)		
名称	面積	
1. 高校	0㎡	
2. 中学校	0㎡	
3. 小学校	0㎡	
4. 唐沢公園	3,000.0㎡	

4. 消防指標

所轄消防署	入間東部地区消防組合富士見消防署 応援協定 所沢市、川越地区消防組合、 新座市、志木市各消防本部
・消火栓本数	9本
・1消火栓あたり世帯数	60.7世帯/本
・消防水利貯水施設数	9 (5) か所 ( )内は容量40トン以上の施設数
・消防団機械器具置場	0

5. 危険物指標

・給油取扱所	0か所
・一般取扱所	0か所
・屋内・屋外(タンク)貯蔵所	0か所
・地下タンク貯蔵所	0か所

6. 既往災害

・家屋浸水被害	床下	床上	道路冠水
昭和 年 月( )	棟	棟	か所
年 月( )	棟	棟	か所
年 月( )	棟	棟	か所
年 月( )	棟	棟	か所
年 月( )	棟	棟	か所
年 月( )	棟	棟	か所
年 月( )	棟	棟	か所
・崖崩れ被害 ( 年 ~ 年)	0件		
・火災出火件数 ( 年 ~ 年)	0件		
・1923関東大地震被害			
家屋全壊	0戸		
家屋半壊	0戸		
被害率	0%		

7. 防災基盤施設

消防	0か所	
病院	1か所	恵愛病院
医 院	0か所	
休日診療所	0か所	
警 察	0か所	警察署 派出所
水防施設 その他の施設	0か所	
・自主防災組織(数)	0	
・自主防災組織参加世帯率	0%	
・飲用井戸本数	0本	

8. 危険度評価

・内水災害危険度	0ランク
・外水災害危険度	0ランク
・土砂災害危険度	0ランク

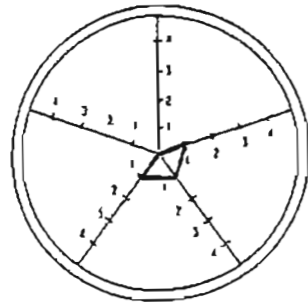
・木造建物被害危険度	1ランク
・木造建物出火危険度	1ランク
・木造建物延焼危険度	1ランク

地盤	地盤の地震動危険度	1ランク
危険度	液状化危険度	0ランク

※ 危険度評価ランク

危険度	無	微	小	中	大
ランク	0	1	2	3	4

内水災害危険度



液状化危険度

木造建物被害危険度

木造建物延焼危険度

木造建物出火危険度

9. 地盤条件

地盤は、町会全体が台地（台地段丘）で硬い。地震は、震度5（+）（強震の強い方）が予想される。

10. 問題点の整理

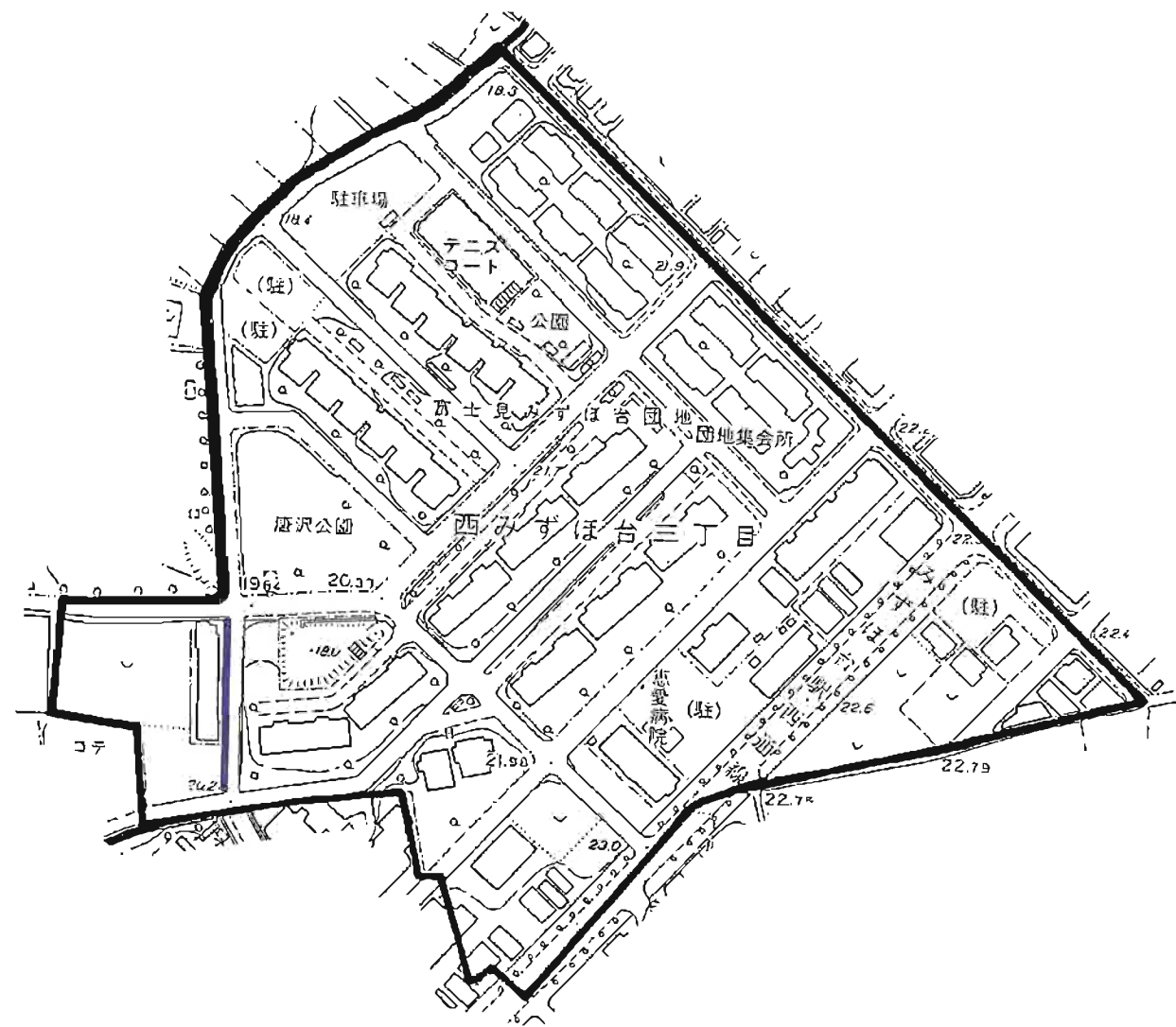
災害発生要因		災害抑止要因	
1. 内水災害	低い。	1. 水防能力	水防施設は無い。
2. 外水災害	無い。	2. 防災組織	無い。
3. 倒壊危険	地盤条件が良いので倒壊の危険性は低いと予想される。	3. 消防能力	消火栓は、世帯数と比較して少ない。消防水利貯水施設は十分と思われる。
4. 出火危険	出火の危険性は低いと予想される。	4. 防火能力	町会全体の建物は不燃化が促進されているため、防火能力は高い。不燃領域率は100%と見込まれる。
5. 延焼危険	延焼の危険性は低いと予想される。	5. 避難収容力	西中学校の避難収容力は、西みずほ台1丁目南町会、西みずほ台2丁目町会と共用するが、これらの町会は地震火災の危険性が低いと予想されるため、収容力は十分と思われる。1人あたりの公共空地は1.9㎡/人と見込まれる。
6. その他の災害	無い。		

11. 解決の方向性

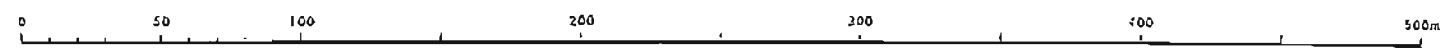
避難可能な道路の幅員は広く、また、道路沿いにある倒壊物、転倒物による道路の狭隘化の危険性は低いと予想される。しかし、商店街の看板、自動販売機等の倒壊、転倒により、一部の避難道路は、狭隘化の恐れがややあるので、これら倒壊物、転倒物の予防対策の指導が望ましい。  
人口密度が高い集合住宅の防火対策、地震対策は、①非常時のパニックの防止 ②延焼防止と避難路の確保 ③防災情報（火元の感知、通報、避難誘導など）の一元管理 ④居住者、管理者への防災知識の普及 ⑤住民相互のコミュニティ ⑥住民の自主防災組織等の対策指導が望まれる。

※ 想定震度 5（+）（強烈(強)）

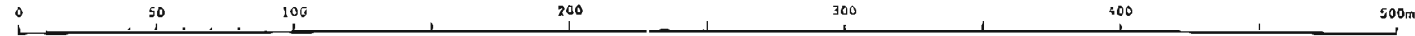
防災現況図A(災害発生要因)



凡 例	
●	給油取扱所
■	一般取扱所
⚠	危険物屋内タンク貯蔵所
⚠	危険物屋外タンク貯蔵所
⚠	危険物地下タンク貯蔵所
▲	L P G 充 填 所
△	橋 梁
▽	横断歩道橋
△	立 体 交 差
■	木造家屋密集地域
—	河 川 ・ 水 面
⚠	急傾斜地崩壊危険区域
■	盛 土
■	浅い谷・低地(谷底平野)
既往浸水域(平成3年台風18号)	
■	田の浸水地域
■	田の被害区域
■	畑の被害区域
■	床上浸水地域
■	床下浸水地域



防災現況図B(災害抑止要因)



凡 例	
	消防署・出張所
	消防団機械器具置場
	水防施設
	防火水槽・プール
	警察署・派出所・駐在所
	市役所・出張所・公民館
	防災行政用無線子局位置
	コミュニティ・集会施設
	保健所・保健センター
	病 院
	医 院
	休日診療所
	指定避難所
	公 園
	河川・水面
	避難可能な道路
	幅員12m以上の道路
	幅員12m以上の道路 (計画中)
	学 校 (小・中・高)
	空地・水田・畑

